

むぎ公民館報

2023.9月~2024.3月 259号



祝 二十歳の皆様 おめでとうございます



令和6年 牟岐町二十歳の集い

令和6年1月3日(水)海の総合文化センターにおきまして、『令和6年牟岐町二十歳の集い』が開催され、令和5年度に20歳を迎えられた成人の人数は35名(男性15名、女性20名)で、式典には28名が参加されました。式典では大森副町長が祝辞を述べ、「皆さんには、日本を背負って立つ、豊かな教養と、健全な身体と高い情操を合せ持つ民主的な文化人たるべき責任を自覚した人間となられることを祈念し、お祝いのことばといたします」と締め括り、20歳を迎えられる皆様を激励しました。



計 女性 男性
三十五名 十五名

〔女性〕
青田 萌
石橋 茉那
岡見 朋佳
久保有里那
竹山 愛夏
中田 希望実
新田 海空
久岡 真尋
藤村 汐珠
家形 梨菜

和森 平 信 中 仲 正 久 後 浅
田 森 井 田 山 井 路 保 山 野
優 愛 玲 信 中 仲 正 久 後 浅
里 葉 奈 田 山 井 路 保 山 野
 華 華 華 華 華 華 華 華
 な 知 智 生 天 実 し
 た 華 菜 芽 音 来 お
 た 華 菜 芽 音 来 お

〔男性〕
江岡 愛登
小澤 日向
栗林 伊吹
古城 悠
谷村 宗舜
谷本 大地
浜田 來空
和田 大洋

前仲 谷 高 小 川 小
田 村 本 戸 島 部 澤
陸 悠 翔 翔 空 伶 大 太
登 翔 翔 空 伶 大 太
登 翔 翔 空 伶 大 太

令和六年
名簿

代表答辞



川部大和さん

20歳を迎えられた成人の皆様を代表して川部大和さんが、「20歳を迎えた成人としての決意を忘れず、力強く、たくましく、そして優しく生きていくことを誓い、皆様方のご期待に応えるべく努力してまいりますので、なお一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。」と答辞を述べられました。

意見発表(4名)



高戸空さん



谷本翔さん



中山知華さん



藤村汐珠さん

司会進行



和田大洋さん

記念品贈呈



竹山愛夏さん(写真右側)

牟岐町民共楽運動会が開催されました

開会式



小学生徒競走



グランドゴルフ・ゲートボール



青少年非行防止パレード



びん釣り競争



バスケット競争



令和5年10月8日(日)、旧牟岐小学校グラウンドにおきまして、牟岐町民共楽運動会を開催いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため4年ぶりの開催となった今大会は、種目数やチーム数の削減などの新しい試みのもと、4年ぶりの活況を取り戻しました。あいにくの悪天候により午前中で大会は打ち切りとなりましたが、恒例の福引大会を旧牟岐小学校体育館で実施し、盛況のうちに大会を終えることができました。



VS中学生リレー

NPO団体の「ひとつむぎ」が牟岐中学生と対決しました。



あっちむいてホイ



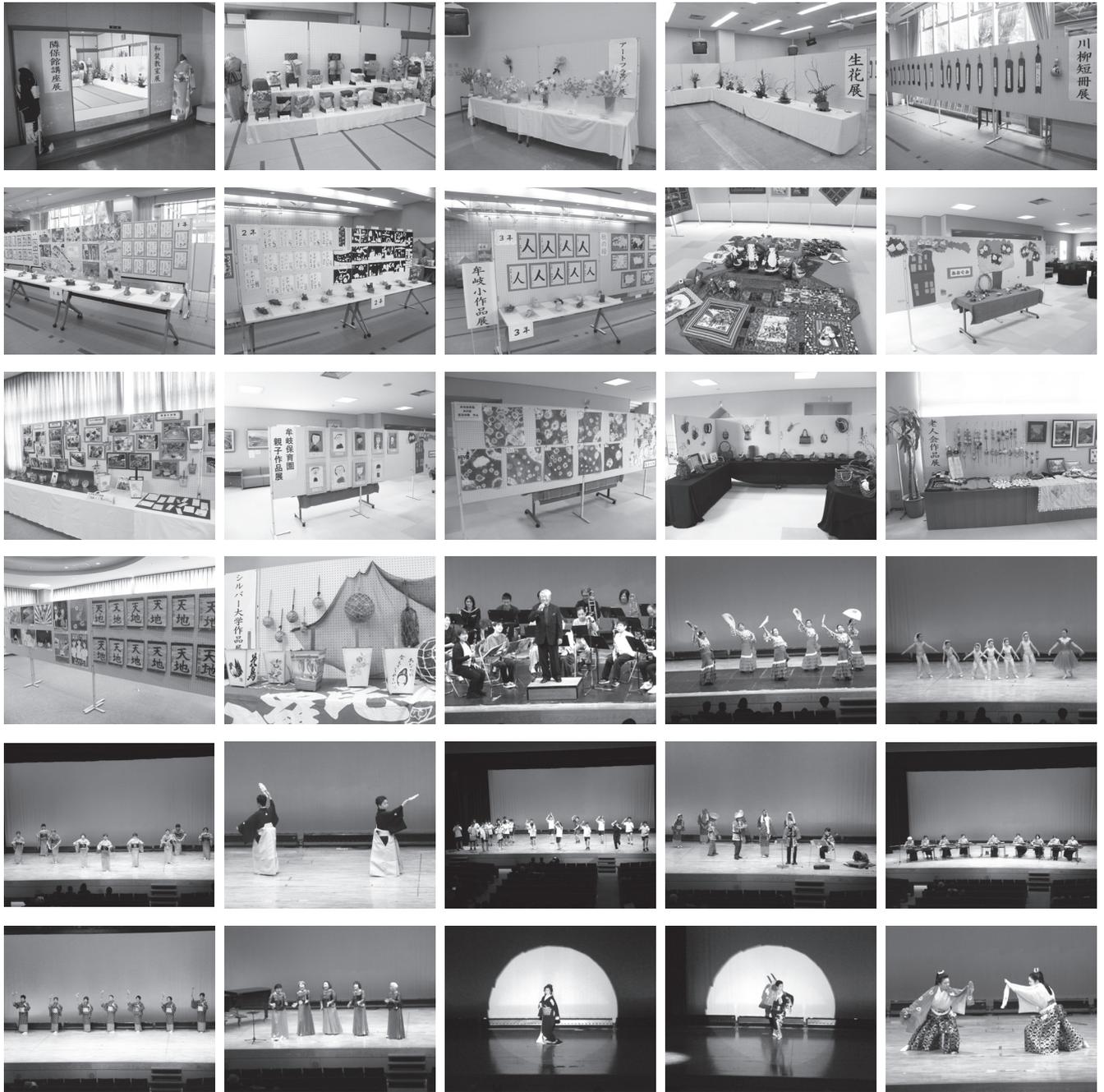
福引大会



牟岐町文化祭

展 示 令和5年11月 3日(金)～5日(日)
 文化の集い 令和5年11月 5日(日)
 舞踊の集い 令和5年11月12日(日)

文化の集い・舞踊の集いは4年ぶりの開催となりました。



「ウトロ平和祈念館」視察研修に参加して ウトロ地区の歴史から 人権と平和の大切さを学ぶ

牟岐町人権教育協議会 葛谷 信也



海部郡人権教育協議会が毎年実施している県外視察研修に、牟岐町人権教育協議会から藤元会長を含め四名が参加した。本年度は、京都市宇治市にあるウトロ平和祈念館で現地研修を行った。

最初に、ウトロ平和祈念館金秀煥（キムスファン）副館長から、ウトロ地区の歴史や記念館建設までの歩み、現在も問題となっているヘイトスピーチやヘイトクライムの問題、隣接している中学校が祈念館を訪れて行っている人権学習などについて話を聞いた。

ウトロ地区は戦時中、日本政府が推進した飛行場建設で集められた朝鮮人労働者の宿舎跡に形成された集落で、戦後は在日コリアンが定住した。

地権者に土地の明け渡しを迫られたが、市民や韓国政府の支援により土地の一部を購入し住民の立ち退きは避けられた。金さんは土地問題について「ウトロ地区だけの問題でなく、社会の問題だと考えた地元の日本人たちがウトロを守った。ウトロは日本人と力を合わせて町を守ってきた友好と連携の象徴だ」と語られた。また、祈念館で展示するための資料を保管してあった倉庫が放火された問題に触れ、「ヘイトスピーチやヘイトクライムが各地で起きている。ネット上での憎悪や差別書き込みも多くあり、ヘイトは在日だけでなく、他の少数者にも向くかもしれない。誰が被害者になってもおかしくない。差別やいじめは社会構造の問題である」と強調された。

さらに、この記念館は戦争から生まれたウトロという地域を

守り抜いてきた人々の姿を通じて、人権と平和の大切さ、共に生きて出会うことのすばらしさを伝えていける場所にしたという思いで建てられた。当初は年間二千人の来館者を見込んでいたが、祈念館がオープンしてから一年半で来館者が二万人を突破した。かつてウトロ地区は『行つてはいけない場所』と言われていたが、地域に開放され、人権を学び、人々の出会いの場として大きく変化している」と説明してくれた。

その後、屋上上がり飛行場の建設予定地だった広大な敷地や、最近できたばかりの住宅などについて説明を受けた。



続いて、二階常設展示ではウトロの形成過程や戦後の生活、ウトロを守る戦いなど、現在にいたるまでの歴史を、実際の展示物やパネルなどで詳しく知る



ことができた。三階企画展では、民族楽器を使った農学隊についての紹介があり、ルーツを大切に生きているウトロの人たちの思いを知ることができた。

最後は、祈念館周辺を歩きながらフィールドワークを行った。祈念館のすぐ前には、ウトロ地区に残された最後の朝鮮人労働者の飯場が移築されている。がらんとした間取りで質素な建物であるが、今でも隣近所で声を掛け合い、助け合って暮らしていたこのところが一番よかったと懐かしむ人がいると聞いた。

少し先には、土地問題の住民運動の拠点として、たくさん看板を立てかけていた建物の跡地や、地区の住民の集いの場となっていた場所など地域の人たちの生活の様子を知ることができた。

「今までウトロ地区は火災が起きた地域で、正直あまり良い印象を持っていませんでした。しかし、今日ウトロ平和祈念館に行つて、ウトロ地区の正しい歴史を知り、あつてはならない差別や偏見について改めて理解することができました。私も実際、看板の前を通つたことがあつたが、それはウトロ地区に住む人々が描いたものだと思つて、今日聞いた話とつながる部分がたくさんありました。これからは今日の学習を活かして、人種が違つてもお互い協力し合い、差別や偏見のない社会をめざしていけるようにしたいです。」

これは人権学習を行った近隣の中学生の感想文であるが、いろいろな人権問題についていかに正しく理解することが大切であるかがこの感想文からもうかがえる。

これまで在日朝鮮人の問題については、あまり関りがなく感じていた部分があつたが、今回の現地研修に参加して、自分たちに関係ない問題ではないということに改めて実感できる機会となつた。



地域の皆様と共に

市宇ヶ丘学園だより 第17号

地域の皆様のあたたかいご支援、ご協力をいただきながら、「たくましく やさしく ねばりづよくそだて むぎっ子」のスローガンのもと、子どもたちは元気に日々の学園生活を送っています。今年度後半の活動の様子を紹介します。



ヘルスマイトさん来園

ヘルスマイトの皆さんと劇を見たり、踊ったり、食育について楽しく学びました。



牟岐小学校体験入学

あおぐみさんがワクワクドキドキしながら体験入学へ行ってきました。



牟岐中生との交流

中学3年生が手づくりの玩具を持って来園してくれて、子どもたちと楽しく遊んで過ごしました。



小学校2年生 バンブーダンス

出羽島在住のジュリアンさんに来ていただき、インドネシアに伝わるバンブーダンスを教わりました。曲に合わせて楽しく踊ることができました。

チーム名『なかよしえがおニコニコ 元気なあいさつ日本一！たすけあい力をあわせてパワーいっぱい2年生』



小学校4年生 藍染に挑戦！

学級園で育てた藍でTシャツを染めました。個性豊かな世界に一つだけのデザインに仕上がりました。宝物がまたひとつ増えました。

チーム名『見た目は4年 頭脳は大人 その名はピッカピッカの4年生 かがやき続ける18名』



小学校6年生 カヤック体験

牟岐の海へいざ出港！牟岐の海での活動を通して、力を合わせることの大切さを学びました。海とふれあい、大はしゃぎな子ども達でした。

チーム名『あたたかい話し合いができ、ありがとうがあふれ頼られる11人の学級』



文化祭

数年ぶりの全日開催になりました。「海南文化館」で郡中音楽祭が開催されました。3年生を中心に、阿波踊り・合唱など、日頃の練習の成果を發揮することができました。



海部郡中学校音楽祭



修学旅行

2年生が沖縄へ2泊3日の修学旅行に行きました。平和の大切さや、沖縄の歴史・伝統・文化などを学ぶことができました。

婦人学級紹介

婦人学級は、牟岐町の生涯学習の一環として、年間を通して各種の教室、研修等を開催しています。

今年度の活動の一部を紹介させていただきます。

★十一月 寄せ植え教室

クリスマスやお正月を前に玄関の彩として三年ぶりに寄せ植え教室を開催しました。

シクラメンや葉ほたんなど、数種類の花を組み合わせ、背の高さや花の色などを考えながらバランスよく一つの鉢に植えていきます。いろいろな方向から鉢を眺めたり、講師の先生にアドバイスをもらったりしながら、思い思いの寄せ植えを楽しみました。



最後に講師の先生から花の手入れの仕方や肥料の与え方などを教わりました。それぞれの玄関先で美しい花を咲かせているころだと思っています。

★一月 防災教室

今年一月一日に能登地方で震度七の大地震が発生し、多数の方が亡くなり、今もなお多くの人たちが苦しい避難生活を送られています。



牟岐町でも今後二十年以内に、高い確率での発生が予測されている、南海トラフ巨大地震・津波への備えが重要となっています。

そこで、地震や津波から大切な命を守るために、防災教室を開催しました。

牟岐町で防災サークルの代表として活動されている講師

の上田好美様から、これまでの防災サークルの活動について話を聞いた後、実際に能登にボランティアに参加された徳島大学の井若先生から能登の被害状況について話を聞き、牟岐町のことに置き換えて考えることができました。

令和5年度 婦人学級活動実績



期日	実施項目	内容	人数
5/17	開講式・ふるさと探訪	開講式・ふるさと探訪「出羽島」	39名
6/11	人権講演会	木山裕策講演会・ミニコンサート	47名
8/22	交流手芸教室	トトロの置き物を作ろう	28名
9/20	健康教室	ペタンク	35名
11/6	県外研修	奈良飛鳥の古墳とお寺めぐり	24名
11/27・28	寄せ植え教室	かわいい花を育てよう	39名
1/30	防災教室	南海地震・津波に備えよう	31名
2/13・26	料理教室	しっかり食べて低栄養予防	38名
3/15	講演会・閉講式	「依存症予防」講演会・閉講式	32名

ふたば川柳

気味悪い笑いトツプから浅れる

気付くのが遅い廊下の奥の怪に

祖母の足ひ孫の自慢を触れ歩く

自分史に孤高と書いてそつと消す

藤井 りいち

自分史にまおおきにとつけ加え

絵の中に入れておきたい色一ツ

あの世への一歩け名前出てくれぬ

決め玉は人の情と神のみ

大田 一洋



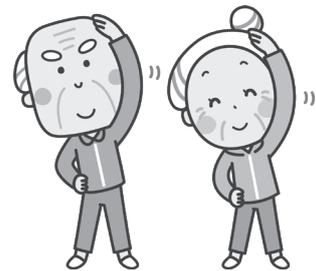
高齢者教室

牟岐町は生涯学習の町の一環として、高齢者教室を月一回の割合で開催しており、高齢者の方々の生きがいと潤いのある生活作りを目指しています。具体的な活動内容として、交通安全や人権教育、消費者問題などについて新たな知識を学ぶとともに仲間づくりや異なる世代との交流を通して豊かな人生を送ることを目的とした教室です。

- 一、教養講座（交通安全、防犯・防災、人権教育、文化財保護、消費者問題講座など）
- 二、健康講座（健康づくり、音楽療法講座など）
- 三、その他（日帰り研修旅行、娯楽講座など）

「人生100年時代」に向けて、日本全体の高齢化率が上昇し続けている現代だからこそ生涯学習の重要性が一層高まっていると考えています。認知症や寝たきりにならないためには、食生活の改善や適度な運動のほか、コミュニケーションの機会を増やすなどで脳を活性化させることが大切だと思います。高齢者教室

参加希望者には葉書で講座の案内を致しますので教育委員会までお申し込みください。



シラタマ 学級活動報告

シラタマ学級とは、小学四年生から六年生までを対象に行っている体験学習です。牟岐町の歴史や自然をたずね、文化や環境の学習を通じて牟岐の良さを知り、お互いに協力し合って友情の輪を広げることを目的に実施しています。



令和5年9月24日(日)
牟岐和紙 手漉き体験



令和5年10月28日(土)
サンドブラスト体験



令和6年2月24日(土)
灘山トレッキング

牟岐短歌会

胡蝶蘭の 鉢をかかえて 来る友の

笑顔を照らす 花びらの白

ひと言に ぼつと和むよ 郵便さん

ぼつぼつと 巡るよ笑顔

藤川 はやみ

杖が来た 四つの爪の 杖が来た

牟寿の壁に かきつく爪だ

お接待の 土壌豊かな お四国に

移って欲しい 暮らして欲しい

藤井 利一

ゆつたりと 弧を描きたる 牟岐橋に

並んで走る 特急室戸は

まっかな柿 もろたの句碑の 山頭火

古き米屋は 店を閉じたり

※牟岐町間に山頭火の句碑「しくれてぬれてまっかな柿もろた」の句碑があります。

令和六年 一月二十五日

山岡 誠次

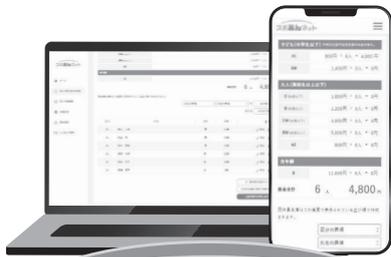


スポーツ // 文化活動 // ボランティア 団体活動のための補償制度

令和6年度
(2024年度) 保険期間
令和6年4月1日から
令和7年3月31日まで

小さな掛金、大きな補償

スポーツ 安全保険



スポあんネット

インターネットでかんたん加入

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。



#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団
#放課後事業 #総合型地域スポーツクラブ #教室
#部活動地域移行 #文化系サークル #ボランティア

加入区分・掛金 (年度初回加入時は4名以上)

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	
子ども (中学生以下)	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円	
	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円	
大人 (高校生以上)	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	B 65歳以上	1,200円	
	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	A2	800円	
全年齢		D	11,000円	
子ども (中学生以下)	ワ(個人活動補償型) イドコース	A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
		C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下	4,850円
		B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
(注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和6年4月1日」を基準とします。

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社 ☎0120-233-801
担当課 公務第2部 文教公務室 (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和6年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

公益財団法人スポーツ安全協会
<https://www.sportsanzen.org>

人のうごき

令和6年・3・1

総人口 3,542人
 男 1,668人
 女 1,874人
 世帯数 1,911戸
 高齢化率 54.07% (65歳以上)
 令和5年9月からの出生数合計：5人
 (牟岐町で受理した出生届9月～2月末受付分まで合計)

お知らせ 『ご結婚おめでとう』『お誕生おめでとう』

は受付時、牟岐町に住所がある方で、掲載を希望された方を対象としています。
 牟岐町外で届出をされた方で、公民館報への掲載を希望される場合は、

★牟岐町海の総合文化センター
 (TEL 72-0107)

又は、

★牟岐町役場 住民福祉課
 (TEL 72-3415)

までご連絡ください。

お誕生おめでとう

◇令和五年八月

コロボフ ニコライ・友久 梨佳
 二女 絵美梨(西の東)

◇令和五年十月

野村 季志・千明
 長女 楓華(杉王)

◇令和五年九月

稲葉 圭佑・香織
 長女 加帆(杉王)

◇令和五年十一月

岩崎 一馬・亜優
 長女 明日香(西の東)
 ※現美波町

◇令和五年九月

児戸 大佐・美咲
 長女 美空(辺川)

◇令和六年二月

中谷 篤弘・朝陽
 三男 凧葵(本町)

※掲載希望届け 令和五年九月～令和六年二月分まで



児戸 美空ちゃん



稲葉 加帆ちゃん



友久 絵美梨ちゃん



中谷 凧葵くん



野村 楓華ちゃん

むぎ公民館報 第二五九号

令和六年三月三十一日発行

印刷

福山印刷株式会社

☎ 0884-7210107
 ☎ 0884-7213388

発行所 牟岐町公民館

徳島県海部郡牟岐町川長
 牟岐町の総合文化センター内